

別紙2 令和5年度 自己評価書 作成日 令和5年9月 国分寺市立第二小学校 校長名 小林 卓

教育目標： ○進んで学ぶ子 ◎心を磨く子 ○健康に過ごす子 (わかば学級)○得意なことを頑張る、苦手なことにも挑戦する子 ○友達と仲良くする子 ○きまりを守る子 ○自分のことは自分でする子

目指す学校像： 毎日通うのが楽しい学校、当たり前ができる学校、見える学校・話の出来る学校

目指す児童・生徒像： 自らを高め、互いに支え合い、楽しく充実した学校生活を送ることのできる児童

目指す教師像： 指導力に優れた教師、児童、保護者、地域から信頼される教師、組織的な学校運営にすすんで参画できる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	分析コメント	改善策
確かな学びの定着	○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、思考力・判断力・表現力を育成する。 ○主体的、対話的で深い学びの実現を目指し、授業改善を推進する。	○「授業改善推進プラン」をもとにした授業改善を図り、基礎・基本の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。	週ごとの指導計画を作成し、指導と評価の一体化を図り、授業改善を推進する。	4		4		教員の自己評価は肯定的評価が100%であった。週ごとの指導計画を作成し、基礎基本の定着のために授業改善の推進に努めている。	新たに作成した授業改善推進プランに沿って、さらに改善を進めるとともに個に応じた丁寧な指導を行い、どの児童も「わかる・できる」指導の充実を図る。
			一人1台のタブレットやICT機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	3		4		教員の自己評価は、肯定的評価が約8割であった。タブレットやICTをより手軽に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る必要がある。	夏季休業中に情報担当教諭が講師となり、ICT活用研修や市の研修の還元研修を行った。今後も研究や研修を通して教員のICT活用に関する技能の向上を図る。
			国分寺学の創設に向け、地域人材や地域環境を活用した体験的な学習を再構築する。	1		4		教員の自己評価は肯定的評価が約6割となった。地域教材や地域環境を活用できていない学年がある。国分寺学創設に向け、教材開発が必要である。	小中連携研修会で、三中地区における国分寺学推進の方向性を共有する。また、各学年で具体的な地域教材の開発を行い、2、3学期に授業を実施し、検証を行う。
豊かな人間性の育成	○「全ての人が大切にされる街宣言」の具現化に向け、児童の豊かな心の育成や望ましい人間関係を構築する力を育成する。	○人権教育や生活指導の一層の充実を図り、いじめを予防し、児童の規範意識を高める。 ○児童の豊かな感性を育み、道徳性の向上を図る。	組織的にいじめ問題に対応し、児童が主体的にいじめ防止に取り組む活動の充実を図る。	4		3		保護者アンケートは肯定的意見が約7割となった。学校がいじめの未然防止と早期対応・解決に努めていることに、概ね理解が得られたと考える。	「わからない」という保護者の意見もあったため、今後も学校の取り組みを発信していく。「いじめ防止フォーラム」への参加や代表委員会の活動など、児童が主体的にいじめの未然防止に取り組む機会を充実させる。
			・「考える道徳、議論する道徳」を推進する。 ・発達段階に応じて学級会活動を年に10回以上実施する。	4		3		保護者アンケートでは、「望ましい人間関係の育成」について「わからない」とする回答が17%であった。年10回以上の「学級会」の取り組みを充実させ、成果を発信していく必要がある。	道徳授業地区公開講座で、全学級の道徳授業を公開し、保護者・地域と意見交換会を行う。また特別活動担当教諭が、「学級会」の方法について各担任に指導助言を行ったり、教員向けの「特別活動だより」を発行することで、「学級会」の充実を図る。さらにその成果を学校だより等で発信する機会をもつ。
開かれた学校づくり	○「見える学校・話のできる学校」となることで、家庭・地域と課題を共有しその解決を図る。	○あらゆるツールを活用し、学校の発信力を高め、保護者・地域との連携を深め、協働関係を築く。	・学級だよりを毎月1回発行する。 ・二小ブログを毎日更新する。	3		4		保護者アンケートでは、肯定的意見が9割以上であった。月1回以上の学級通信の発行や「二小ブログ」での情報発信について評価をいただけたと考える。	今後も「早く、正確に、わかりやすく」を心がけ、月1回以上の学級通信の発行と毎日の「二小ブログ」の更新を確実にやっていく。
			保護者・地域に学校を公開し、事後のアンケートを活用して教育活動の改善を図る。	4		2		保護者アンケートでは肯定的意見が約7割であった。保護者の方からのご意見をもとに、学校ができる改善は真摯に取り組んできた。保護者・地域の方々とともに連携し、ともに解決を図っていく必要がある。	保護者ボランティアなどと連携し、教育活動の充実を図る。また学校運営協議会委員のご意見を生かし、改善を進める。